

エイジフレンドリーシティ 行動計画ワークショップ

テーマ1 身近なエイジフレンドリーを考える(商い・人・まち)

第1回

日時:平成24年10月3日(水) 午後6時30分～午後8時
会場:ねぶり流し館 4階 練習室
進行:NPO法人あきたNPOコアセンター
主催:秋田市

当日の流れ

- 6:30～ 開会
ワークショップの趣旨説明
(秋田市長寿福祉課)
- 6:40～ 参加者自己紹介
「わたしのカルテ」
- 7:20～ 意見交換
「高齢者の強み・弱み」
- 7:50～ グループ発表
8:00 終了



かわら版

「私のカルテ」で参加者自己紹介♪



「わたしのカルテ」というシートを使い、参加者一人ひとり自己紹介を行いました。カルテの項目は以下の通り

1. 名前
2. 住まい(町内など)
3. 私の楽しみ
4. 私が最近うれしかったこと
5. 私は秋田市のここが好き

自己紹介のなかから、参加者の皆さんの「人柄」や「街への想い」、様々な「知識」「能力」を垣間見ることができました。カルテはまさに「人材バンク」です。

意見交換「高齢者の強み・弱み」を考える

後半は、「**高齢者の強み・弱み**」について、グループで意見交換。話し合いは、各自意見をふせんに書いて模造紙にまとめ集類していく「**KJ法**」で進められました。各グループとも細かい意見は様々ですが、大枠では共通の項目が多くみられました。

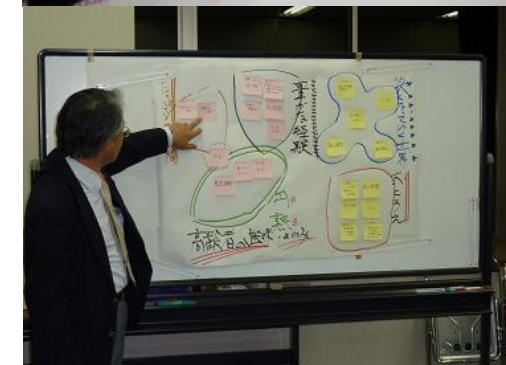
● 高齢者の持つ強み

- ・豊富な知識、経験がある
- ・広い人脈を持っている
- ・精神の円熟
- ・時間的なゆとりがある
- ・金銭的余裕がある

● 高齢者の持つ弱み

- ・心身の衰え
- ・これまでの考えへのこだわり
- ・新しいものへの適応が難しい
- ・孤立し、世界が狭くなりがち

「強み」を活かし、「弱み」からバリアフリーなまちづくりを進める課題を見つけ、「エイジフレンドリー」な街へ！
次回は、「**商店街**」について意見交換を行う予定です。



「エイジフレンドリーシティ」とは・・・？

「エイジフレンドリーシティ」とは、「**高齢者にやさしい都市**」という意味であり、**WHO(世界保健機関)**において提唱されました。秋田市は2011年12月に日本国内初のグローバルネットワーク参加都市となりました。このワークショップでは、WHOに提出する、秋田市の**具体的な行動計画**を、ワークショップの参加者、つまり、秋田市に住み、まちづくりに関心をよせる**市民の皆さんが主体**になり、行政と役割分担をしながら共に考えていく場です。ワークショップは2つのテーマで開催され、本グループは「**身近なエイジフレンドリーを考える(商い・人・まち)**」について、もうひとつのテーマは、「エイジフレンドリー普及啓発情報発信」について、様々な意見を持ち寄りながら、具体案を考えていきます。お知り合いを誘ったりなど、途中参加も大歓迎です！

